

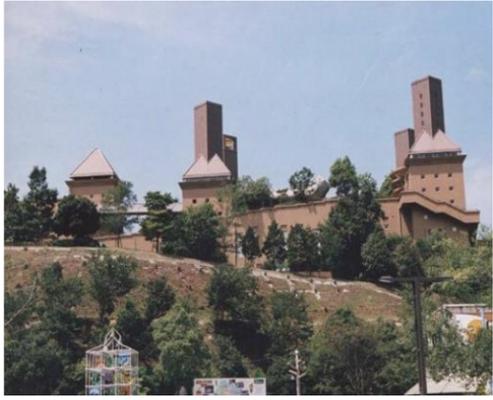
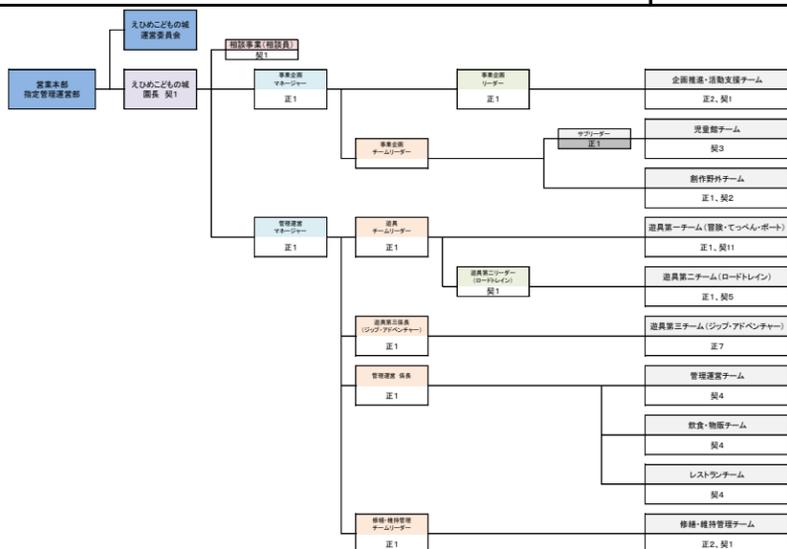
令和5年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和6年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	えひめこどもの城 (平成10年10月24日)	所在地 電話番号	愛媛県松山市西野町乙108番地1 089-963-3300 http://www.i-kodomo.jp/		
県所管課	男女参画・子育て支援課	指定管理者の名称	伊予鉄総合企画株式会社		
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	利用料金制	○	あり	なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	子どもたちが豊かな自然環境の中で、仲間同士や家族等とのふれあいを通じて、遊び体験をはじめ、自然体験、社会・文化体験等さまざまな体験活動を行うことにより、創造性や自主性、社会性、豊かな感性等を育むことができるとともに、県下の児童館等児童関連施設のセンター機能や指導者の養成等を行う研究・養成機能を持つ総合的な拠点施設として設置	施設の外観
施設内容	・体験施設(31.2ha) ① こどものまちゾーン 大型児童館<1階:こどもタワー等、2階:多目的ホール等、3階:ワークショップ等、屋上:探索園> ② アクティビティゾーン-NEXT- 芝生広場、くわがたのステージ、レストラン「アイ・リヴァージュ」、ボートのりば、コシロアドベンチャー、コシロカート等 ③ 創造の丘ゾーン 創作工房、ハーブ園、花の丘等 ④ アクティビティゾーン 冒険ステーション、四輪バギー、てっぺんとりで、ボブスレー、てんとう虫のモノレール、ジップライン等 ⑤ ふれあいの森ゾーン 森のとりで、森の広場、野鳥の森等 ・その他(駐車場:松山側駐車場(乗用車395台)、砥部側駐車場(乗用車105台))	
指定管理者が行う業務	1 事業の実施に関する業務 ①体験機会提供業務 ②遊具運行管理業務 ③活動支援業務 ④研究養成業務 ⑤その他の業務 2 施設等の利用に関する業務 ①施設等利用許可業務 ②利用促進業務 3 施設等の維持管理に関する業務 ①施設保守管理業務 ②保守点検業務 ③建築物環境衛生管理業務 ④備品管理業務 ⑤植栽管理業務 ⑥清掃業務 ⑦保安警備業務 ⑧駐車場管理業務 ⑨その他の業務 4 管理運営業務 ①事業計画書等の作成 ②事業報告書の作成 ③事業評価業務 ④関係機関との連絡調整 ⑤指定期間終了後の引継業務 5 その他こどもの城の管理運営に必要な業務	
施設の管理体制		

3 検証のための指標の推移

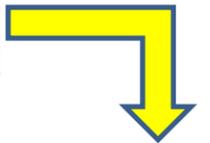
(1) 利用者数

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年間利用者数	336,530 人	191,380 人	201,290 人	310,330 人	386,270 人

(2) 収支状況

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 (A) 入	307,855 千円	290,955 千円	412,433 千円	332,708 千円	371,626 千円
委託料	213,836 千円	208,141 千円	306,534 千円	223,309 千円	253,191 千円
委託料(補正額)※	0 千円	14,294 千円	29,018 千円	12,110 千円	0 千円
利用料金収入	51,082 千円	32,247 千円	34,467 千円	53,678 千円	64,826 千円
その他収入	42,937 千円	36,273 千円	42,414 千円	43,611 千円	53,609 千円
支 (B) 出	304,995 千円	291,133 千円	412,433 千円	332,708 千円	364,907 千円
事業費	31,302 千円	19,303 千円	28,204 千円	34,757 千円	34,584 千円
維持管理費	87,367 千円	76,978 千円	182,735 千円	108,992 千円	109,239 千円
人件費	132,525 千円	139,861 千円	148,202 千円	131,430 千円	159,332 千円
その他支出	53,801 千円	54,991 千円	53,292 千円	57,529 千円	61,752 千円
収 (A) - 支 (B)	2,860 千円	▲ 178 千円	0 千円	0 千円	6,719 千円

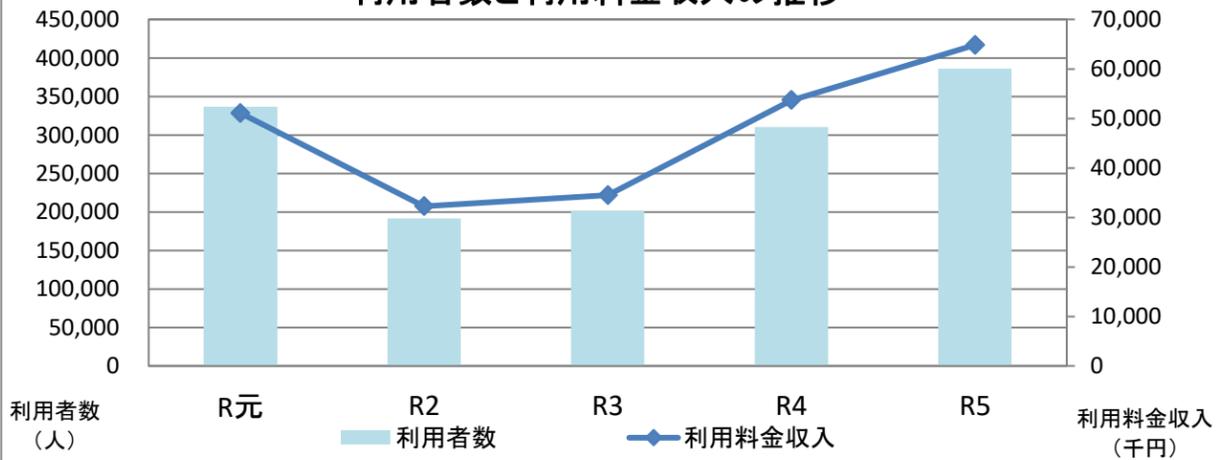
(※) 新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

- 新遊具のコシロアドベンチャーが春休みにオープンしたことによる来園者、利用者の増
- 新型コロナウイルスによる制限が緩和されたことによる来園者増

利用者数と利用料金収入の推移



4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	
<p>○5月から新型コロナウイルスが5類となり、出かけやすい機運になったことにより来園者が大幅に増加した。要因の一つとして新遊具の複層型木製立体アスレチックのコシロ・アドベンチャーがオープンし、県内外から多くの方に利用していただいたこともある。</p> <p>○自主的に各所への手指消毒液の設置などを行い、屋外を中心としたイベント等を実施し安心して遊べる施設運営を心掛け、GW・夏と冬の夜間イベントを中心に例年以上の来園につながり大きな成果となった。コロナ過で窮屈な遊びしかできなかった子どもたちに「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」へ、「遊び場の提供」をどうするかを考えることが使命の1つと意識をし続けたことが大幅な利用者回復につながったと考える。</p> <p>○ジップラインの利用者は9,330人となり、前年に比べ苦戦したが、SNS発信や県外広報に努めた。また、3月26日にオープンした複層型木製立体アスレチックはオープン以降順調に利用者数が伸びており、年間利用者は56,110名となった。今後もジップライン及びコシロ・アドベンチャーを中心に幅広い年齢層、県外からの利用者を取り込みながら、とべもり+（プラス）エリアが一体となり、引き続き利用者増につながるよう運営を行っていく。</p> <p>○「動くえひめこどもの城」では県内各所へ赴き遊びの支援を行ったり、児童厚生員の資格認定研修では県外から講師を招くこともでき、大型児童館として県下の児童館に対する役割として職員の資質向上に寄与することができた。</p> <p>○また、みきゃんアプリの活用を進めており、キャッシュレス利用による利便性の向上や園内利用促進につながっており、今後も園全体での活用を進めていく。また、新たな団体向けコンテンツとして、SDGs学習コンテンツを開発しモニターツアーが実施され好評であったとの報告があった。ハード・ソフトを含め今後の団体利用促進につなげていく。デジタル化・非接触に変遷している中、五感全てで感じられる「体験」を多くの方々に提供できる様、持続可能な運営に向けて、施設職員が来園者本位のサービスに注力し、多くの笑顔を増やせるよう取り組んでいく。</p>	評	価
	<p>昨年度に引き続き、遊具が無料となる「家族の日」の設定、各種無料券・夏休みイベントガイドブックの発行などの利用促進策を行うとともに、企業・他施設等とのタイアップ事業や創意工夫をこらした夏季及び冬季の夜間イベントなど、積極的な取組みを行っている。また、ジップライン・複層型木製アスレチック遊具などを核とした効果的な情報発信を行い、利用者の増加に取り組んだ。さらに、駐車場自動料金収受機や遊具券売機導入によるDXの推進も進められており、利用者の利便性向上につながる取組みも行われている。</p> <p>引き続き利用者増加のため、積極的な事業展開を図っていただきたい。</p>	A

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	
<p>○施設の老朽化に伴い大型修繕として、あいあい児童館内のエレベーター更新と外壁補修、汚水処理用のポンプの更新を行ったことにより、利用者の安心安全を守ることが保たれた。また、消えかけていた駐車場の白線を引き直し安全性を高めるとともに、こどもファストラックとしてベビーカーやチャイルドシート等の優先駐車場を設置した。また、日常の美観維持にも力を入れ、来園者からお褒めいただく声も増加している。桜や紅葉などの植込も行い、老朽化による寂れ感がでないよう工夫している。</p>	評	価
	<p>開園から年月が経過し、施設の老朽化が進む中、状況に応じた修繕等を実施するとともに、日々の点検も適切に行っており、利用者が安心・安全に遊ぶことのできる場所の提供に努めている。今度も引き続き施設の適正な維持管理に取り組んでいただきたい。</p>	A

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

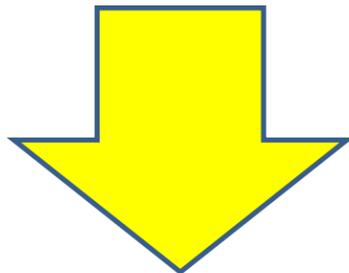
指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	
<p>(利用者からの評価)</p> <p>○立体アスレチックが良かった。</p> <p>○クッキングが楽しかったし、美味しかった。</p> <p>○スタッフさんがとても優しく説明してくれたので、良かったです。スタッフの方々が笑顔で感動しました。</p> <p>(利用者からの要望)</p> <p>○お祭りをしてほしい(夜)。</p> <p>○スポーツ体験や外の遊びを増やしてほしい。</p> <p>(意見を反映させるための取組み)</p> <p>○夏季、冬季に夜間イベント行い、色々な催しや飲食など工夫を図っている。</p> <p>○毎月、あいあい児童館2階多目的ホールや芝生広場で「JUMPJAM！」や「エンジョイ・レク」など、身体を動かす遊びを行っている。今後もニーズに合わせ検討する。</p> <p>○職員対応クレームは即時に共有し、問題点の改善を行いサービス向上を図っている。</p>	評	価
	<p>利用者アンケート箱の設置やホームページでの要望の受付等、複数の手段により、利用者の意見の収集に取り組むとともに、専門的知識を有する委員との意見交換も実施されている。引き続き利用者等に真摯に対応し、えひめこどもの城の魅力向上に努めていただきたい。</p>	A

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	
<p>○団体向けコンテンツとして、SDGs学習コンテンツを開発し、モニターツアーが実施され好評であった。引き続きハード・ソフトを含め今後の団体利用促進につなげていく。</p> <p>○夏季や冬季など学校長期休暇にあわせ、こどもの城を含む県内のイベント情報をまとめたイベントガイドを発行し、県内の幼稚園・保育園・小中学校への配布を定期的に行っている。</p> <p>○とべもりジップラインや新たに追加されたコシロアドベンチャーをテーマとした県外地域への情報発信の他、各所のデジタルサイネージ、ビジョン広告にて、施設のイベント案内等を掲載、また、Instagramを中心としたSNS広報にも注力しており、臨場感ある分かりやすい告知動画の投稿、更新回数を増やし、利用者・知名度アップに努めている。また他の指定管理施設や伊予鉄グループでのSNS相互活用も図っていく。</p>	評	価
	<p>マスコットキャラクターであるコシロちゃんを活用しながら、様々な媒体により、えひめこどもの城での活動情報を発信しており、子どもから大人まで幅広い層の利用者促進に努めている。</p> <p>自社の強みを活かした広告も行っており、今後も引き続き施設の周知に努めていただきたい。</p>	<p>A</p>

【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
<p>平成18年度の指定管理者制度への移行以来、マスコットキャラクターなどによるPR、無料パスのキャンペーン、開園時間の延長、夜間イベントの実施など従来にない取組みが好評を博し、制度導入直前の来園者数の落ち込みが改善されており、指定管理者制度導入の目的に合致した、一定の成果が上がっている。特に令和5年度の実来園者数は、387,620人にのぼり、過去3番目の多さとなった。</p> <p>えひめこどもの城が、これから先も多くの幅広い年齢層の方々に親しまれる施設であり続けるために、施設及び遊具の点検や補修に必要な経費を確保するとともに、利用者のニーズに応じた効果的かつ柔軟な企画・運営について検証していきたい。</p>